

日本の食と農を考える 2022 年度公開研究会のお知らせ

第 5 回 「生産者から生協産直を考える（仮）」

2022 年 10 月 14 日 日本科学者会議食糧問題研究委員会

日本における農業の生産と消費を結ぶ 1 つの大切な方法として、多くの人々の協力で生協産直を全国各地で展開し、さらに今後も広がっていくことでしょう。

ところで課題もいくつか抱え、今回は生産者の目線で現状や課題に触れていただき、生協産直の在り方を考えますのでぜひご参加ください。

記

①テーマ 「生産者から生協産直を考える（仮）」

②概要

1975 年に 7 名で発足し、1981 年に 25 名で設立した農事組合法人「船橋農産物供給センター」は、現在 120 名の生産者が協力し、年間で約 90 品目を生産し首都圏の生協などへ届けています。

そこでの理念は、①「畑と食卓といのちを結ぶ」産消提携を広げます、②地域と日本の農業の発展をめざし食を守ります、③誠実と公平をもち社会と自然の環境作りに貢献しますを掲げています。

その 40 年以上の取り組みから、生産者の目線から生協産直の在り方や課題を考えます。

③報告者

飯島幸三郎 船橋農産物供給センター前代表 日本科学者会議食糧問題研究委員会

スケジュール

11 月 26 日（土）

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～15:05 「生産者から生協産直を考える（仮）」報告

- ・船橋農産物供給センターの取り組み
- ・生産者の現状
- ・日本の農業や生協産直への期待、他

15:05～16:00 質疑応答と議論

⑤参加

無料です。希望者は下記へ当日接続してください。

<https://us06web.zoom.us/j/88583292854?pwd=L2ZJdE1yMGtWb2FyZ3I0akhPRmlqdz09>

ミーティング ID: 885 8329 2854

パスコード: 054887

このテーマにご興味のある方がいましたら、お誘いをよろしく申し上げます。

以上です。